

第 66 回 IRPA 理事会報告



本号の目次

1. 第 66 回 IRPA 理事会
2. 英国放射線防護学会
3. IRPA 指針...
4. IRPA 加盟学会: IRPA-エジプト
6. IRPA 地域会合

IRPA 出版委員会

委員長: Christopher Clement
副委員長: Bernard Le Guen

会報編集
Chunsheng Li, Ali Shoushtarian

加盟学会連絡
Adelene Gaw

ウェブサイト管理運営
Andy Karam, Chris Malcolmson

ソーシャルメディア管理運営
Sven Nagels, Chris Malcolmson

メディア情報収集・提供
Melanie Rickard
Ralph Thomas
Sven Nagels
Young-Khi Lim
Duncan McClure
Daisuke Sugiyama
Cheng Wei



第 66 回 IRPA 理事会 (EC) が 2014 年 5 月 10-11 日にかけて、マレーシアの美しいクアラルンプールで開催され、9 名の理事が出席しました。彼らは、2016 年に南アフリカのケープタウンで開催される IRPA14 国際会議における 50 周年記念行事の準備について議論し、また、各国の会員の現状を確認しました。副会長のロジャー・コーツ氏は、新しいシーベルト表彰委員会が 3 件のシーベルト賞の推薦を受けたことを報告しました。そして、総務理事のベルナルド・ル・グエン氏より、このリストが最終版であるかどうかの確認がすべての加盟学会に送られました。出版委員長のクリス・クレメント氏は、IRPA ウェブサイトの最新の更新状況について紹介しました。

理事会では、過去の会合やワークショップからのフィードバックをレビューしました。会長のリナート・チャルウィンスキ女史は、2014 年 5 月 7-9 日にドイツのヴェルツブルクで開催された WHO-REMPAN 会合での IRPA 発表について報告しました。その発表は、REMPAN(訳者注: Radiation Emergency Medical Preparedness And Assistance Network、緊急被災医療準備ネットワーク)コミュニティから大変感謝されました。総務理事のベルナルド・ル・グエン氏は、アジア IRPA 会合の発表で、RP と安全文化に関する IRPA 出版シリーズの一部としての新しいガイダンスの共同出版のための IOMP(訳者注: International Organization for Medical Physics、国際医学物理機構)と IRPA の間の協力について提案しました。この提案は、大変良く受け止められました。IRPA 会計理事のディック・テューイー氏は、今後の地域会合と IRPA 会合に関する最新情報を報告し、2024 年に米国で開催される IRPA 会合の準備状況についても報告しました。ワーキング/タスクグループの設置に関する作業と各ワーキング/タスクグループの進捗が発表されました。

IRPA と ICRP の間の協力は、もはや強調する必要もないでしょう。会長は、5 年以上にわたる継続したサポートに関する声明の採択を提案し、理事会により全会一致で承認されました。クリス・クレメント氏は、持続的で長期的な視野での 5 カ年にもわたる経済的な支援を得るために、ICRP が 5 カ年の資金強化キャンペーンを立ち上げたことを示しました。IRPA からの支援は、現在では ICRP にとって最大の貢献の一つとなっています。IRPA からの長期的な支援を促進するため、IRPA と ICRP の間で覚書の準備を行うことを決定しました。作業は両組織の間で進められることとなっています。もし IRPA が RP プロフェッショナルの代弁者になりたいのであれば、世界中の全 RP メンバーの貢献のもと、このような協力を構築することは重要でしょう。

会長は、IRPA 理事会がアルゼンチンの 2015 年会合 (2015 年 4 月 12-17 日) に参加し、同時期に第 67 回理事会を開催することを招待する文書をアルゼンチン加盟学会より受け取りました。この招待は全会一致で承認されました。

ベルナルド・ル・グエン
IRPA 総務理事

International Radiation Protection Association

 <https://www.facebook.com/IRPA0>

 <https://twitter.com/IRPA>

 www.irpa.net

放射線防護学会 (SRP) - 英国の IRPA 加盟学会

元々は米国保健物理学会の支部であった SRP (www.srp-uk.org) は、ロンドンにあるインペリアルカレッジにおいて、1963 年 5 月 8 日に創設会合を執り行いました。発足当初は 64 名であった会員数は急速に増大し、現在では 2,200 名を超え、IRPA 加盟学会で二番目に大きな学会となりました。

私たちは IRPA 会合を 2 回成功裏に開催したことを誇りに思っています。それは、1972 年のブライトンでの IRPA2 と、2012 年のグラスゴーでの IRPA13 です。グラスゴー大会のテーマは“社会との関わり”で、1,200 名もの地域学校の子どもの対象に、展示や講演といった特別な一日を作り出しました。事実、それはとても大きな影響を与え、今となっては私たちの毎年の会合での定期的な行事となりました。そして、私たちの社会事業の目的に沿って、RP を国内の新しい聴衆に届ける手段となっています。

私たち全ての会員は、会員サービスの一つとして、*Journal of Radiological Protection* (<http://iopscience.iop.org/0952-4746/>) の配布を受けています。同誌は 1981 年に創刊し、現在では高いレベルの国際学術誌として確立され、世界中の会員に広く読まれています。私たちは、週刊の電子メールシステムと共に、活気に満ちたウェブサイトも有しており、会員の要求を支援しています。

近年の私たちのハイライトの一つは、2007 年に Royal Charter (国王に承諾された特許状) が与えられたことです。これは英国の専門家集団に対する最も高いレベルでの認証であり、英国放射線防護学会と放射線防護の専門家にとって大変名誉あるものです。私たちは現在、Chartered Radiation Protection Professional (CRadP) と称する賞をそれに相応しい会員に授与しています。

学会の主な運営主体は、現在 14 名の理事から構成される評議会です。さらに、20 を超える委員会があり、様々な活動や部門に焦点を当てています。私たちは毎年 6 から 10 個の行事を組織しており、春には 3 日間の年会を開催 (年次総会と年次夕食会も併せて開催) しています。

私たちの国際委員会は SRP 会員と英国の提携団体 (Association of University Radiation Protection Officers, British Institute of Radiology, British Nuclear Medicine Society, Institute of Physics and Engineering in Medicine, Royal College of Radiologists and Society & College of Radiographers) から構成されており、これらの組織メンバーに IRPA に加入するための方法を提供しています。したがって、英国からの情報発信と IRPA や関連する国際活動への対応を発展させるための協力フォーラムとして活動しています。

私たちには 50 年以上の歴史があります。最初の 50 年の歴史はこちら (www.irpa.net/page.asp?id=54565) からご覧いただけます。世界中の仲間からの私たちの活動に関する問合せを歓迎します。そして、IRPA 行事でお目にかかるのを楽しみにしています。

ピーター・マーズデン教授 CRadP
会長
president@srp-uk.org



23名の会長経験者 於第50回年次大会 (ハロゲイト, 2013年5月)。



第1回 SRP 学校行事 (グラスゴー, 2012年5月)



放射線防護文化を醸成する IRPA 指針

2014年6月、IRPAは放射線防護文化を醸成するための指針の最終版を発行しました。おめでとうございます！

“放射線防護文化を醸成するためのIRPA指針の目的”は、放射線防護文化の本質的な構成要素についての放射線防護（RP）専門家の意見と見解を把握することです。全てのステークホルダーの関与のもとで包括的かつ十分に協議されたアプローチを発達させることで、この文書は文化的なアプローチの成功に対する信念を育てることと、放射線防護専門家が彼らの組織と作業場でRP文化を促進することを支援する指針を提供することの両方を目指しています。RP実践者が彼ら自身に特有な課題に見合った実践的な指針や勧告を策定することの助けとなるでしょう。そして、組織の中で最も高いレベルでの管理に用いられるでしょう。

ある組織の中の文化的なレベルにRPを定着させることは、パフォーマンスを我々全員が求めるレベルにまで高めるための、群を抜いて最も効果的な方法です。

文化の概念は、思想、信念、そして習慣に関連しており、それらは社会の中の人々によって共有され、受容されています。分野間（医療、原子力、産業）に差はありません。科学的な側面と社会的な側面を組み合わせることで、放射線防護文化は、作業員、患者、人々、そして環境のすべての側面におけるRPについての習慣と知識の組み合わせとして理解することができるのです。

放射線防護文化の発達にはいくつかの段階が考えられるでしょう。そのようなモデルの一つには、以下の三つの主要な発達上の段階が含まれます；基本的なコンプライアンス、自己管理的な安全コンプライアンス、そして行動上の安全システムです。いかなる文化発達プログラムの目的も、組織的かつ個人的な振る舞いを最高の段階に向けて改善することにあります。

強力なリーダーシップ、教育と訓練、職場におけるポジティブな振る舞いの確立、そしてすべての実践者間での適切なコミュニケーションは、放射線防護文化に明確な影響を有します。同様に、過去の出来事や事故、ニアミスから学ぶことは文化発達の重要な一部です。

最適なツールの組み合わせが放射線防護文化のレベルと品質を評価するために必要となります。これは、特定された成功の基準を測定するためだけでなく、ポジティブあるいはネガティブな傾向についての判断と観察を促進するためでもあるのです。

ある組織の中のRP専門家は、組織の中にわたって放射線防護文化を定着させるための管理を支援する中心的な役割を果たさなければなりません。彼らの幅広い責任に言及する際、放射線防護の実践者は、幅広いステークホルダーとの相互作用が職場文化の発達と適用を支援するということを知っておく必要があるでしょう。

IRPA加盟学会 (AS)は、RP文化の促進という最前線に立つRP専門家を支援する主要な役割を有しています。

科学、工学あるいは医療文化に加えて、“フィールド文化”を発達させることは、問題を予測すること、そして、全ての従業者の関与を得るための方法です。放射線防護文化は、経験によって身に着く生き方そのものなのです。詳細はこちらをご覧ください：<http://www.irpa.net/page.asp?id=179>

IRPA エジプト



IRPA エジプトは 1992 年に IRPA ファミリーに加入しました。現在、Mohamed GOMAA 教授が会長であり、Rifaat ELSHINAWY 教授が事務局長です。IRPA エジプトの会員には、エジプト原子力エネルギー機関 (EAEA) やその他のセンターにおける放射線防護の専門家が含まれています。IRPA エジプトの国際的な活動には、2003 年に南アフリカで開催された第 1 回アフリカ放射線防護大会 (AFRIRPA) への参加、2007 年にエジプトで開催された第 2 回 AFRIRPA の運営、2010 年にケニヤで開催された第 3 回 AFRIRPA への参加、第 4 回 AFRIRPA と IRPA14 会合への将来の参加が含まれています。IRPA エジプトの国内活動としては、放射線物理と防護に関する会合を 1992 年以降、2 年に一度、定期的に行っています。第 12 回会合は、2014 年 11 月にケナ/ルクソールで開催予定です。

その他の活動には、エジプトで開催される放射線防護訓練コースの監督、ICRP 勧告や IRPA 会報(第 1 号)のアラビア語への翻訳などがあります。IRPA エジプトは、放射線防護サービスを研究所、企業、病院などに提供しています。詳細な情報は、IRPA エジプトウェブサイトをご覧ください：<http://www.irpa-egypt.com>。

IRPA エジプト放射線防護ワークショップ、カイロ、2010 (記事と写真は M. GOMAA 教授の提供)

